

平成 29 年度 第 2 回軽米町総合教育会議 議事録

1 日時 平成 30 年 1 月 29 日 (月) 午前 9 時 30 分から

2 会場 軽米町役場 2 階第 1 会議室

3 出席者

(構成員) 山 本 賢 一 町長
菅 波 俊 美 教育長
戸草内 勝 夫 教育長職務代理者
兼 田 寿 教育委員
関 向 玲 子 教育委員
田 端 守 教育委員
(事務局) 佐々木 久 同 事務局次長
工 藤 薫 同 次長補佐
八ツ役 真司 同 指導主事

4 あいさつ〈町長〉

本年度第 2 回総合教育会議の開催にあたり、策定中の教育振興基本計画案について説明を受け、協議をお願いします。平成 30 年度は、給食費の助成を 3 分の 1 から 2 分の 1 に引き上げたいと考えており、今後も引き続き子育て支援の充実を図って参りたい。また、子どもたちの学力向上については、教育の基本的なところなので、学校や教育関係機関のさらなる取り組みをお願いしたい。

5 協議事項

(1) 軽米町教育振興基本企画の策定について

① 事務局より説明

- ・ 計画策定の進行状況について
- ・ 軽米町教育振興基本計画 (案) について

(2) 意見交換

〈町長〉 生徒数が減っている軽米高校について、校長先生から入学者確保を頑張っていたが、今年は、有名国立大学への志願者もいるということで、学力向上の面でも成果を出していると感じている。今後も中高一貫体制の中で学力の向上を図っていききたい。

〈委員〉 八戸市南郷区からの入学希望者がいるかもしれないと聞いたが、その場合、通学や下宿に対して何らかの援助は考えているのか？

〈町長〉 現実に入学者があった場合には、何かしら考えることとなる。

県外の学校なので、これまで軽米高校の魅力を発信できていなかった面がある。実際に軽米高校へ入りたいと保護者の方に言われている。初めは1人でも、これをきっかけとして入学者が増えることを期待したい。

〈委員〉 教育の分野でも行政主導ではなく、町民との共同で進めることを打ち出していく必要がある。いい例が住民の手による生涯学習フェスティバルで、今では文化協会などの有志が主体となって行われている。人口が少なくなっていく中で、これからは色々なことを行政と住民が協働で進めることが重要な時代となって行くように思う。

〈町長〉 良い意見をいただいた。新制度により総合教育会議に自分も参加しているが、教育行政を進めるうえで住民との協働の動きを進めていきたい。

〈教育長〉 生涯学習の分野では、朗読会やフェスティバルなど住民との協働が進んでいるように思うが、学校教育の分野で、なかなか住民参加が進まないところがある。町内一斉の学校公開日を設けたり、ノーメディア週間の取り組みなどいろいろな活動を通じて学校のことを理解していただきながら、町民の皆様から学校の活動に参加していただく取り組みを進めて参りたい。

〈町長〉 2月1日から旧笹渡中学校の校舎を使って植物工場が稼働し始める。室内で、土を使わないでLEDと水を使って、また二酸化炭素の削減にもなる衛生的な野菜を作る工場である。農業や環境を学習する良い教材となると思われるので、総合教育に役立ててもらいたい。

また、将来は、高家地区のバイオマス発電施設から出る熱を利用した野菜生産施設も造りたいと思っている。

〈委員〉 ぜひ、子どもたちにも見学させてあげたい。

○閉 会